

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年3月31日

事業所名 社会福祉法人あづみの森
第3あづみ園

保護者等数（児童数） 77家庭 に配布 回収率 90 %

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | わからない | 無記入 | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|---|-----|--------------|-----|-------|-----|---|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 93% | 6% | | 1% | | ・施設は広く、色々な活動が出来てよい | ・子どもの実態や活動に応じて、空間を調整し、安全なスペースを保って活動ができる様にしています。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 84% | 10% | | 6% | | ・職員の異動があるので、年間で固定して欲しい。 | ・多数の事業をおこなっている為、異動もあるので、子ども達の不安が最小限になる様に配慮していきます。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 86% | 9% | | 4% | 1% | ・子ども達にわかりやすい様に視覚的に工夫されている。 ・個々のイスなどにマークが貼ってあったり、イラストで1日の流れの説明があり解りやすい。 | ・引き続き子ども達に解りやすいイラストや写真を使いながら支援を行っていきます。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 94% | 4% | | 1% | | ・何がどこにあるか、わかりやすく整理され、ラベルなどがありわかりやすい。 ・子どもたちの活動に応じて部屋を使用できるのでよい。 | ・引き続き解りやすい提示をこころがけていきます。 ・活動に応じて、子ども達が楽しく安全に使える様に引き続き行っていきます。 |
| 適切な 支援の | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 94% | 6% | | | | ・前期、後期で児童発達支援計画の作成があり、子どもの現状や目標が解りやすい。 | ・個々の発達や課題に即した支援計画を計画出来るようにしていきます。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 84% | 1% | | 13% | 1% | | ・ガイドラインを参考にしながら作成していきます |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 97% | 3% | | | | ・少しずつだが、課題が改善されている ・子どもの課題に沿った支援がされている | ・引き続き発達や課題に沿った支援をおこないます。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---|--|-----|-----|----|-----|---|--|---|
| の提供 | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 84% | 9% | | 7% | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、様々な活動があり、経験から子どもの出来る事が増えています ・すでに出来た物は外し、新たな課題に取り組んでいるので工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の実態に応じた活動を引き続きおこなっていきます。 | |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 67% | 12% | 1% | 20% | <ul style="list-style-type: none"> ・園と連携がとれており、併行先でも困り感が減っています ・あづみ園でした事を保育園で実践できるといいなと思います。 ・併行保育で交流がある | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境資源を生かし、活動できる空間を引き続き設けていきます。 | |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 88% | 12% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・用紙と口頭で説明がありよと思う。 ・入園前の説明は丁寧でわかりやすかったです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時には、引き続き口頭と用紙とでわかりやすい説明を心がけます | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 91% | 6% | | 3% | | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き行っています。 | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 75% | 14% | 1% | 7% | 1% | <ul style="list-style-type: none"> ・場面によって、どう声をかけたらよいか丁寧に教えてもらえる。 ・丁寧に話を聞いて頂けるので、困った時は心強いです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導や参観日などを通して家庭支援が出来るように、引き続きおこなっていきます。 |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 93% | 6% | 1% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に話が出来る、その時の状況を理解出来て助かる。 ・連絡帳の文面からは園での様子がわからない。もっと口頭で教えて欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎、個別指導、個人懇談、カンファレンス等を通して、子どもの様子を共有出来る様に、引き続きおこなっていきます。 |
| | ⑭ | 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 94% | 4% | 1% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・面談もありわからない事がある時などの確かなアドバイスをもらえる。 ・困った事があると丁寧に助言下さりとても勉強になる | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎、個別指導、個人懇談、カンファレンス等を通して、子どもの様子や課題を共有出来る様に、引き続きおこなっていきます。 |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 54% | 19% | 3% | 23% | 1% | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者間の交流の場を設けて欲しい。同じ様な事で困っている方の話を聞いてみたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子活動や行事などを通して保護者同士の交流が出来る時間を調整していきます。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|---|--|-----|-----|--|-----|----|---|--|
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 91% | 4% | | 4% | | | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き迅速かつ適切な対応が出来るようにしていきます |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 87% | 10% | | 1% | 1% | <ul style="list-style-type: none"> お手紙や連絡帳に写真がはってあり様子がわかりやすい。 伝達しづれがあっても当日に電話連絡して頂けた。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども達の様子を写真や連絡帳などを使い伝えていきます。 緊急時は一斉メールで情報を配信していきます。 |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 74% | 14% | | 10% | 1% | <ul style="list-style-type: none"> 毎月の予定や活動内容を詳しくおたよりにして下さり楽しく拝見しています。 HPを見る機会がなくあまり見れていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き園だよりや広報誌で園での情報をお知らせします。 |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 97% | 1% | | | 1% | | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、取り扱いに注意しおこなっていきます |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 73% | 10% | | 16% | 1% | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時のマニュアルが配布して下さり、わかりやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> 年度のはじめにはしおりとして配布し、変更時はお手紙お知らせしていきます。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 74% | 10% | | 14% | 1% | | <ul style="list-style-type: none"> 毎月、色々な災害を想定し訓練を行っています。今年度は園だよりの様子をお伝えしました。引き続きお知らせしていきます。 |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 87% | 12% | | 1% | | <ul style="list-style-type: none"> どんな活動をしたかなど楽しそうに教えてくれます。 『なんで毎日幼稚園にいけないの?』と聞いてくる事が増えてきました。 | <ul style="list-style-type: none"> 園での様子を送迎や連絡帳の写真、クラスだよりを通して、子ども達の様子がわかる様にしていきます。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 94% | 4% | | | 1% | <ul style="list-style-type: none"> 家庭での困り感などにもすぐにアドバイスがもらえる。 利用前とは落ち着き変化が見られた。 本人に自信がついたようにみられます。 職員の入れ替わりがあり、支援が十分にされているか不安。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども達の困り感に適切な対応が出来るように、職員は研修等に参加しスキルアップをおこなっていきます。 多数の事業をおこなっている為、異動もあるので、子ども達の不安が最小限になる様に配慮していきます。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月31日
職員10名に配布

事業所名 社会福祉法人あづみの森
第3あづみ園

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 未記入 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|------|-----|-----|---------------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | | | ・パーティションを使用し部屋を区切っている。 | ・部屋により異なるので、活動によってスペースを区切って行っています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 30% | 70% | | ・活動によっては専門職などが入り、安全を確保している。 | ・配置基準は満たしているが園児の実態から見ると、増員の必要性がある。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 60% | 40% | | ・悪天候が続くときには、床を拭き転倒防止を心かけている。 | ・階段や外廊下が雨天時に滑りやすい為、引き続き天候や状況に応じて安全に過ごせる空間にしています。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 80% | 10% | 10% | ・加湿器や空気の入替えをおこなっている。 | ・加湿器も定期的に掃除を行い、引き続き清潔に保てるようにしていきます |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している | 70% | 20% | 10% | ・月に一回の会議や適宜必要な時に行っている。 | ・引き続き行っています |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | | | ・事業所評価及び行事等でアンケートを配布している。 | ・評価を基に職員で話し合い質の向上を図れるようにしていきます。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 90% | | 10% | ・HPでの公開を行っている。 | ・HPで掲載をおこなっている。見ていない方もいるので、掲示板への提示もおこなっていく。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 60% | 30% | 10% | | 現在は実施していない。今後検討していく |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | | | ・月に1回の職員研修 ・年6回程度の法人講演会の開催 | ・質の維持、向上の為に研修は継続していきます。また園外での研修にも積極的に参加出来るように、情報収集をしていきます。 |
| 適切な支援 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 100% | | | ・個人懇談や個別指導、カンファレンスで課題を聞き取り、計画に反映している。 | ・引き続き、子ども達の分析を行い、職員での話し合いを行い、保護者と話をしつつ計画に反映していきます。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | | | ・発達検査、知能検査の実施 | ・引き続き行っています |

| | | | | | | | |
|--------|---|--|------|-----|-----|-----------------------------------|---|
| 援の提供 | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 90% | | 10% | | ・引き続きガイドラインを確認しながら、支援計画に反映出来るようにしていきます。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 100% | | | ・子の様子によって、計画の見直しと変更 | ・引き続き子の実態に合わせて、よりよい計画を作成していきます |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 90% | 10% | | ・クラス毎に話し合いながらプログラムを作成している | ・引き続き、クラスで話し合いながら、よりよい活動が組める様にしていきます。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | | | ・保育士同士で遊びの情報交換を行っている | ・引き続き、子どもの実態やクラスの実態を見極めつつ、活動を考えていきます。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 100% | | | ・個別の部分は専門職が、集団の部分は保育が作成している。 | ・引き続き、子の状況に応じて作成していきます。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 90% | 10% | | ・前日や朝礼までに内容の確認を行う | ・引き続き、職員間での情報を共有し、支援できる様にしていきます。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 90% | 10% | | | ・引き続き記録を書きながら、子どもの様子や支援の振り返りを行っていきます。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | | | ・子どもの様子や支援内容を記録 | ・引き続き、子どもの様子や支援した内容を記録していきます。 |
| 関係機関や保 | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 100% | | | ・年に2回のモニタリングやカンファレンスで子の状況の確認をしている | ・引き続きモニタリングやカンファレンス、送迎時での話を計画に反映していきます。 |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 90% | 10% | | ・児童発達管理責任者と状況に応じて担任の参加している | ・状況にもよるが、複数の職員が参加出来るようにしたり、記録を残しみんなで情報共有をしています。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 90% | 10% | | ・状況に応じた機関と連携をとっている | ・引き続き、状況に応じて連携を取り、子どもの |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | 現在利用なし | 現在利用なし |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | 現在利用なし | 現在利用なし |

| | | | | | | | |
|--------|----|--|------|-----|-----|---|--|
| 護者との連携 | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 90% | 10% | | <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスに参加してもらい、情報共有をおこなっている。 ・送迎や電話での様子の共有を行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関と情報共有を行い、支援につなげていきます。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・入学までに学校を訪問したり、来園してもらい、子の様子をみてもらっている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校と情報共有を行い、支援につなげていきます。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 50% | 40% | 10% | <ul style="list-style-type: none"> ・大学や他機関より講師を派遣してもらい指導を受けている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き行い、多角的な視点で支援できるように連携や研修を行なっていきます。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 50% | 50% | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動で地域の公園を利用し遊具などを共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動では難しいが、引き続き公園などでの活動で行った際に、共有する時間を設けていきます。 |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 10% | 70% | 20% | <ul style="list-style-type: none"> ・施設内で参加できる人が参加。 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な職員が参加し、情報収集をし、園全体で情報の共有をおこなっていきます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 90% | | 10% | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、親子活動、個別指導、カンファレンス、懇談児を利用し、子の状況を伝える。 ・会えない保護者には、電話や手紙を書いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、おこない。保護者と状況の共有が出来るようにしていきます。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 50% | 40% | 10% | <ul style="list-style-type: none"> ・学習会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続しての参加が難しい方もいるので、定期的な学習会を開催していきます。 |
| 保護者 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・口頭と書面にて説明を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、解りやすい |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者と同意のもとで適切な支援が出来るようにしていきます。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ・懇談やカンファレンス、個別指導の時に対応している。その他、送迎時に対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者と悩みを共有し、状況に応じた支援や助言を行っていきます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 40% | 60% | | <ul style="list-style-type: none"> ・園主体で保護者学習会や懇談、行事を行い保護者同士話が出来る場を設定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士がゆっくり話が出来る時間を検討していきます。 |

| | | | | | | | |
|----------|----|--|------|-----|-----|---|---|
| 目への説明責任等 | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 電話や懇談にて対応。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、迅速かつ適切な対応をこころがけていきます。 |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 90% | 10% | | <ul style="list-style-type: none"> 月に1回、園だよりやクラスだよりを写真やイラストを入れて配布している | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者に解りやすい物を作成し発信していきます。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 活動でカメラを持ち出す場合など、SDカードを何も入っていないカードへ交換している | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、慎重に取り扱っていきます。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 口頭だけでなく、写真や文字を使い視覚的に伝えている | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き行っていく |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 30% | 70% | | | <ul style="list-style-type: none"> 事業所に招待する活動は難しいが、引き続き地域の公園や施設の利用をおこなっていきます。 |
| 非常時の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 職員はマニュアル一覧ファイルを作成 保護者には年度の初めにしおりに記載し配布している | <ul style="list-style-type: none"> 文字ばかりになってしまうので、図式を使うなど、解りやすい様に改訂をしていきます。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 月1回程度、色々な災害に応じた訓練をおこなっている | <ul style="list-style-type: none"> 引き続きおこなっていきます |
| | ④③ | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 事前に用紙にて提出してもらっている 個々に応じたマニュアルを作成している。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き対応していきます |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> 事前に医師の指示書を提出してもらっている | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き対応していきます |
| | ④⑤ | ヒヤハツ事例集を作成して事業所内で共有している | 40% | 20% | 40% | <ul style="list-style-type: none"> ファイルには閉じている。 | <ul style="list-style-type: none"> ファイリングはしてあるが全体での共有の時間が少ないので、全体共有の場を設けていきます。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 90% | 10% | | <ul style="list-style-type: none"> 年に1回は職員研修に取り入れている | <ul style="list-style-type: none"> 継続しおこなっていきます。 |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 70% | 30% | | | <ul style="list-style-type: none"> 現在はないが、状況に応じて実施する場合は適切な対応をおこなっていきます。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。